



安全データシート

Copyright, 2015, 3M Company
All right reserved.

本情報は、3Mの製品を適切にご使用頂くために作成したものです。複製ないしダウンロードする場合には、以下の条件をお守り下さい。（1）当社から書面による事前承認を得ることなく情報を変更したり、一部を抜粋して使用しないで下さい。（2）本情報を営利目的で転売もしくは配布しないで下さい。

SDS番号	23-1159-5	版	3.00
発行日	2015/12/23	前発行日	2012/09/27

この安全データシートはJIS Z7253:2012に対応しています。

化学品及び会社情報

化学品の名称

3M(TM) Clean-Trace(TM) Surface ATP

3M スtockナンバー

GH-6205-0016-1 GH-6205-2282-7

会社情報

供給者	スリーエム ジャパン株式会社
所在地	本社 東京都品川区北品川6-7-29
担当部門	フードセーフティ製品部
電話番号	042-770-3572

本製品は個々に包装された複数の構成部品からなるキット製品である。SDSには個々の構成部品のSDSが含まれる。個別のSDSを本表紙から分離しないこと。この製品を構成する製品のSDS番号は：

22-9599-6, 22-9605-1

輸送上の注意

船舶安全法、航空法の危険物に該当しない。
取扱い及び保管上の注意欄に述べられている一般的注意に従ってください。

社名変更等

免責事項：この安全データシートの情報は、発行時において正確であると信じられるものです。当社は、法的な要求事項を除き、安全データシートの記載事項について、製品の使用に伴う損失や災害等を補償するものではありません。本安全データシートの記載内容は、記載されている範囲外の使用、あるいは他の物質と組み合わせての使用では効力を持ちません。したがって、製品が使用目的に合致しているかについては、お客様ご自身でご確

認ください。

3MジャパングループのSDSは日本のウェブサイトから入手できます。



安全データシート

Copyright, 2020, 3M Company. All right reserved. 本情報は、3M社の製品を適切にご使用頂くために作成したものです。複製および/またはダウンロードをする場合には、以下の条件をお守り下さい。(1) 3M社から書面による事前承認を得ることなく情報を変更したり、一部を抜粋して使用しないで下さい。(2) 本情報を営利目的で転売または配布をしないで下さい。

SDS番号	22-9605-1	版	4.01
発行日	2020/12/13	前発行日	2016/03/18

この安全データシートはJIS Z7253:2012に対応しています。

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称

3M(TM) Clean-Trace(TM) Surface ATP スワブ液

会社情報

供給者	スリーエム ジャパン株式会社
所在地	本社 東京都品川区北品川6-7-29
担当部門	フードセーフティ製品部
電話番号	042-770-3572

2. 危険有害性の要約

GHS分類

水生環境有害性 (急性) : 区分3

GHSラベル要素

注意喚起語

適用しない。

シンボル

適用しない。

ピクトグラム

適用しない。

危険有害性情報

H402 水生生物に有害。

注意書き

一般:

P102 子供の手の届かないところに置くこと。

3M(TM) Clean-Trace(TM) Surface ATP スwab液

P101 医学的な助言が必要な時には、製品容器やラベルを持っていくこと。

安全対策

P273 環境への放出を避けること。

廃棄

P501 内容物／容器を国際、国、都道府県、市町村の規則に従って廃棄すること。

3. 組成及び成分情報

この製品は混合物です。

成分	CAS番号	重量%
水	7732-18-5	80 - 100
保湿剤	57-55-6	3 - 7
ポリオキシエチレンモノオクチルフェニルエーテル	9036-19-5	< 1
クロルヘキシジングルコネート	18472-51-0	< 0.1
α -ヒドロ- ω -ヒドロキシーポリ(オキシ-1, 2-エタンジール)	25322-68-3	< 0.01

4. 応急措置

応急措置

吸入した場合

応急処置は不要。

皮膚に付着した場合

石鹸と水で洗浄する。懸念がある場合は医療機関を受診する。

眼に入った場合

直ちに多量の水で洗浄する。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。症状が続く場合には医療機関を受診する。

飲み込んだ場合

応急処置は不要。

予想できる急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状

毒性学的影響についてはセクション11を参照。

応急措置を要する者の保護に必要な注意事項

適用しない。

5. 火災時の措置

消火剤

製品は燃焼しない。 火災周辺に適した消化剤を使用する。

使ってはならない消火剤

情報なし。

特有の危険有害性

本製品では予想されない。

消火作業者の保護

消火作業者への特別な防御措置は予想されない。

6. 漏出時の措置**人体に対する注意事項、保護具及び緊急措置**

新鮮な空気での場所を換気する。大量に漏洩した場合、あるいは狭小な場所で漏洩した場合は、安全衛生手順にしたがって、蒸気の拡散、排出のための強制換気を行う。物理的有害性、健康有害性、呼吸保護、換気、個人防護については本SDSの他の項目を参照。

環境に対する注意事項

環境への放出を避けること。

封じ込め及び浄化の方法及び機材

漏洩を止める。ベントナイト、バーミキュライトあるいは市販の無機吸収剤を用い、漏洩物の周囲から内側に向けて覆う。漏洩箇所が乾燥するまで十分に吸収剤を混ぜ合わせる。吸収剤を加えても物理的危険性や健康および環境影響に関する有害性を有することに留意する。漏洩した物質を出来る限り多く回収する。密閉容器に収納する。水で残さを清浄する。容器を密封する。回収した物質は、国内外の法令や規則にしたがって、できるだけ早く廃棄する。

7. 取扱い及び保管上の注意**取扱い**

環境への放出を避けること。

保管

熱から離して保管する。

8. ばく露防止及び保護措置**管理項目****許容濃度及び管理濃度**

セクション3に表示されている成分名が、以下の表に見当たらない場合は、当該成分についての適切な作業時の許容濃度または管理濃度がないことを示している。

成分	CAS番号	政府機関	許容濃度または管理濃度	備考
α-ヒドロ-ω-ヒドロキシ-ポリ(オキシ-1, 2-エタンジイル)	25322-68-3	AIHA	TWA(エアロゾルとして):10 mg/m ³	
保湿剤	57-55-6	AIHA	TWA(エアロゾルとして):10 mg/m ³	

3M(TM) Clean-Trace(TM) Surface ATP スワブ液

ACGIH : American Conference of Governmental Industrial Hygienists

AIHA : American Industrial Hygiene Association

ISHL : 労働安全衛生法作業環境評価基準

JSOH OELs : 日本産業衛生学会許容濃度

TWA : 時間加重平均値

STEL : 短時間ばく露限界値

CEIL : 天井値

ばく露防止策

設備対策

空気中の有害物質をそれぞれの許容濃度以下に制御し、粉じん、フェーム、ガス、ミスト、スプレーをコントロールするためにも、一般的な希釈換気あるいは局排換気を行う。換気が適切に実施できない場合は、呼吸保護具を使用する。

保護具

眼の保護具

特別な眼保護具は必要でない。

皮膚及び身体の保護具

特別な皮膚保護は必要ない。

呼吸用保護具

特別な呼吸器保護は必要でない。

9. 物理的及び化学的性質

基本的な物理・化学的性質

外観	液体
色	無色。
臭い	無臭
臭いの閾値	データはない。
pH	データはない。
融点・凝固点	適用しない。
沸点, 初留点及び沸騰範囲	データはない。
引火点	適用しない。
蒸発速度	データはない。
引火性 (固体、ガス)	適用しない。
燃焼点 (下限)	適用しない。
燃焼点 (上限)	適用しない。
蒸気圧	データはない。
蒸気密度/相対蒸気密度	データはない。
密度	1 g/cm ³
比重	1 [参照基準: 水=1]
溶解度	完全に溶解する
溶解度 (水以外)	データはない。

n-オクタノール/水分配係数	データはない。
発火点	適用しない。
分解温度	データはない。
粘度/動粘度	データはない。
揮発性有機化合物	データはない。
揮発分	
水と規制除外の溶剤を除いた揮発性有機化合物 (JIS-GHSの要求項目ではない)	
モル重量	データはない。

ナノパーティクル

この製品はナノパーティクルを含有しない。

10. 安定性及び反応性

反応性

この物質は、特殊条件下では薬品と反応する可能性がある。このセクションの他の項目を参照する。

化学的安定性

安定。

危険有害反応の可能性

有害な重合反応は起こらない。

避けるべき条件

熱。

混触危険物質

知見はない。

危険有害な分解物

物質

知見はない。

条件

特段の規定はない。

11. 有害性情報

セクション2で区分表示が義務付けられている特殊な成分を含有する場合には、下記の情報と一致しない場合があります。また、成分の含有量が表示義務となる値以下の場合、成分のばく露が予想されない場合、あるいは製品全体を考慮した場合に、含有成分の毒性情報が、製品の区分、ばく露時の兆候や症状に一致しないことがあります。

毒性学的影響に関する情報

ばく露による症状

組成の試験結果や情報より、下記の健康影響が考えられる。

眼に入った場合

3M(TM) Clean-Trace(TM) Surface ATP スwab液

製品使用中に眼に接触しても、重篤な刺激が発現するとは考えられない。

皮膚に付着した場合

製品使用中に皮膚に接触しても、重篤な刺激が発現するとは考えられない。

吸入した場合

人体への健康影響に関する情報は無い。

飲み込んだ場合

人体への健康影響に関する情報は無い。

毒性データ

セクション3に開示されている化学成分で以下に情報が無い場合は、そのエンドポイントに対して利用できるデータが無いか、分類するに十分なデータが無い場合になります。

急性毒性

名称	経路	生物種	値又は判定結果
製品全体	経口摂取		利用できるデータが無い：ATEで計算。5,000 mg/kg
保湿剤	皮膚	ウサギ	LD50 20,800 mg/kg
保湿剤	経口摂取	ラット	LD50 22,000 mg/kg
ポリオキシエチレンモノオクチルフェニルエーテル	皮膚	ウサギ	LD50 > 3,000 mg/kg
ポリオキシエチレンモノオクチルフェニルエーテル	経口摂取	ラット	LD50 > 500 mg/kg
クロルヘキシジングルコネート	皮膚	ウサギ	LD50 > 5,000 mg/kg
クロルヘキシジングルコネート	経口摂取	ラット	LD50 2,000 mg/kg
α-ヒドロ-ω-ヒドロキシーポリ (オキシ-1, 2-エタンジイル)	皮膚	ウサギ	LD50 > 20,000 mg/kg
α-ヒドロ-ω-ヒドロキシーポリ (オキシ-1, 2-エタンジイル)	経口摂取	ラット	LD50 32,770 mg/kg

ATE=推定急性毒性

皮膚腐食性及び皮膚刺激性

名称	生物種	値又は判定結果
保湿剤	ウサギ	刺激性なし
クロルヘキシジングルコネート	ウサギ	刺激性なし
α-ヒドロ-ω-ヒドロキシーポリ (オキシ-1, 2-エタンジイル)	ウサギ	わずかな刺激

眼に対する重篤な損傷又は眼刺激性

名称	生物種	値又は判定結果
保湿剤	ウサギ	刺激性なし
クロルヘキシジングルコネート	ウサギ	腐食性
α-ヒドロ-ω-ヒドロキシーポリ (オキシ-1, 2-エタンジイル)	ウサギ	軽度の刺激

呼吸器感作性または皮膚感作性

皮膚感作性

名称	生物種	値又は判定結果
保湿剤	ヒト	区分されない。
クロルヘキシジングルコネート	ヒト及び	陽性データはあるが、分類には不十分。

3M(TM) Clean-Trace(TM) Surface ATP スワブ液

	動物	
α-ヒドロ-ω-ヒドロキシーポリ (オキシ-1, 2-エタンジイル)	モルモット	区分されない。

呼吸器感作性

セクション3に開示されている化学成分に対しては、利用できるデータが無い、分類するに十分なデータが無い。

生殖細胞変異原性

名称	経路	値又は判定結果
保湿剤	In vitro	変異原性なし
保湿剤	In vivo	変異原性なし
クロルヘキシジングルコネート	In vitro	変異原性なし
クロルヘキシジングルコネート	In vivo	変異原性なし
α-ヒドロ-ω-ヒドロキシーポリ (オキシ-1, 2-エタンジイル)	In vitro	変異原性なし
α-ヒドロ-ω-ヒドロキシーポリ (オキシ-1, 2-エタンジイル)	In vivo	変異原性なし

発がん性

名称	経路	生物種	値又は判定結果
保湿剤	皮膚	マウス	発がん性なし
保湿剤	経口摂取	多種類の動物種	発がん性なし
クロルヘキシジングルコネート	経口摂取	多種類の動物種	発がん性なし
α-ヒドロ-ω-ヒドロキシーポリ (オキシ-1, 2-エタンジイル)	経口摂取	ラット	発がん性なし

生殖毒性

生殖発生影響

名称	経路	値又は判定結果	生物種	試験結果	ばく露期間
保湿剤	経口摂取	雌について生殖毒性は区分されない	マウス	NOAEL 10, 100 mg/kg/day	2世代
保湿剤	経口摂取	雄について生殖毒性は区分されない	マウス	NOAEL 10, 100 mg/kg/day	2世代
保湿剤	経口摂取	発生毒性は区分されない	多種類の動物種	NOAEL 1, 230 mg/kg/day	器官発生期
クロルヘキシジングルコネート	経口摂取	発生毒性は区分されない	ラット	NOAEL 30 mg/kg/day	妊娠期間中
α-ヒドロ-ω-ヒドロキシーポリ (オキシ-1, 2-エタンジイル)	経口摂取	雌について生殖毒性は区分されない	ラット	NOAEL 1, 125 mg/kg/day	妊娠期間中
α-ヒドロ-ω-ヒドロキシーポリ (オキシ-1, 2-エタンジイル)	経口摂取	雄について生殖毒性は区分されない	ラット	NOAEL 5699 +/- 1341 mg/kg/day	5日
α-ヒドロ-ω-ヒドロキシーポリ (オキシ-1, 2-エタンジイル)	特段の規定はない。	生殖・発生毒性の分類外		NOEL 該当なし。	
α-ヒドロ-ω-ヒドロキシーポリ (オキシ-1, 2-エタンジイル)	経口摂取	発生毒性は区分されない	マウス	NOAEL 562 mg/animal/day	妊娠期間中

標的臓器

特定標的臓器毒性、単回ばく露

名称	経路	標的臓器	値又は判定結果	生物種	試験結果	ばく露期間
保湿剤	経口摂取	中枢神経系の抑制	区分されない。	ヒト及び動物	NOAEL 非該当	
クロルヘキシジングルコネート	吸入した場合	呼吸器への刺激	陽性データはあるが、分類には不十分。	類似健康有害性	NOAEL 非該当	
α-ヒドロω-ヒドロキシ-ポリ(オキシ-1, 2-エタンジイル)	吸入した場合	呼吸器への刺激	区分されない。	ラット	NOAEL 1.008 mg/l	2 週

特定標的臓器毒性、反復ばく露

名称	経路	標的臓器	値又は判定結果	生物種	試験結果	ばく露期間
保湿剤	経口摂取	造血器系	区分されない。	多種類の動物種	NOAEL 1,370 mg/kg/day	117 日
保湿剤	経口摂取	腎臓および膀胱	区分されない。	イヌ	NOAEL 5,000 mg/kg/day	104 週
クロルヘキシジングルコネート	経口摂取	肝臓	陽性データはあるが、分類には不十分。	イヌ	NOAEL 0.89 mg/kg/day	1 年
クロルヘキシジングルコネート	経口摂取	免疫システム	区分されない。	ウサギ	NOAEL 71 mg/kg/day	2 年
クロルヘキシジングルコネート	経口摂取	造血器系 腎臓 および膀胱	区分されない。	ラット	NOAEL 71 mg/kg/day	2 年
α-ヒドロω-ヒドロキシ-ポリ(オキシ-1, 2-エタンジイル)	吸入した場合	呼吸器系	区分されない。	ラット	NOAEL 1.008 mg/l	2 週
α-ヒドロω-ヒドロキシ-ポリ(オキシ-1, 2-エタンジイル)	経口摂取	腎臓および膀胱 心臓 内分泌系 造血器系 肝臓 神経系	区分されない。	ラット	NOAEL 5,640 mg/kg/day	13 週

吸引性呼吸器有害性

セクション3に開示されている化学成分に対しては、利用できるデータが無い、分類するに十分なデータが無い。

製品及び成分に関する追加の毒性情報が必要な場合には、本SDSの1ページに記載した住所、電話番号にご連絡ください。

12. 環境影響情報

セクション2で区分表示が義務付けられている特殊な成分を含有する場合には、下記の情報と一致しないことがあります。セクション2の分類に関する追加情報が必要な場合は、弊社にお問い合わせください。また、成分の環境中での運命及び有害性は、成分の含有が表示義務となる値以下の場合、成分のばく露が予想されない場合、あるいは製品全体を考慮した場合に、この項の内容と一致しないことがあります。

生態毒性

水生毒性（急性）

GHS水生環境有害性（急性）区分3：水生生物に有害。

水生毒性（慢性）

GHS分類では水生生物への慢性毒性はない。

3M(TM) Clean-Trace(TM) Surface ATP スワブ液

製品での試験データは無い。

材料	CAS番号	生物種	種類	ばく露	テストエンドポイント	試験結果
保湿剤	57-55-6	甲殻類	実験	96 時間	LC50	18,800 mg/l
保湿剤	57-55-6	緑藻類	実験	96 時間	EC50	19,000 mg/l
保湿剤	57-55-6	ニジマス	実験	96 時間	LC50	40,613 mg/l
保湿剤	57-55-6	ミジンコ	実験	48 時間	EC50	18,340 mg/l
保湿剤	57-55-6	緑藻類	実験	96 時間	NOEC	15,000 mg/l
保湿剤	57-55-6	ミジンコ	実験	7 日	NOEC	13,020 mg/l
ポリオキシエチレンモノオクチルフェニルエーテル	9036-19-5		分類にデータが利用できない、あるいは不足している。			
クロルヘキシジングルコネート	18472-51-0	緑藻類	実験	72 時間	EC50	0.081 mg/l
クロルヘキシジングルコネート	18472-51-0	ミジンコ	実験	48 時間	EC50	0.087 mg/l
クロルヘキシジングルコネート	18472-51-0	ゼブラフィッシュ	実験	96 時間	LC50	2.08 mg/l
クロルヘキシジングルコネート	18472-51-0	緑藻類	実験	72 時間	NOEC	0.007 mg/l
クロルヘキシジングルコネート	18472-51-0	ミジンコ	実験	21 日	NOEC	0.021 mg/l
α-ヒドロxy-ω-ヒドロキシポリ(オキシ-1, 2-エタンジイル)	25322-68-3	アトランティックサーモン	実験	96 時間	LC50	>1,000 mg/l

残留性・分解性

材料	CAS番号	試験の種類	期間	試験の種類	試験結果	プロトコル
保湿剤	57-55-6	実験 生分解性	28 日	生物学的酸素要求量	90 % BOD/ThBOD	OECD 301C-MITI (1)
ポリオキシエチレンモノオクチルフェニルエーテル	9036-19-5	データ不足			N/A	
クロルヘキシジングルコネート	18472-51-0	実験 生分解性	28 日	DOC (溶存有機炭素) 残留量	71 重量%	OECD 301A - DOC Die Away 試験
α-ヒドロxy-ω-ヒドロキシポリ(オキシ-1, 2-エタンジイル)	25322-68-3	実験 生分解性	28 日	生物学的酸素要求量	53 % BOD/ThBOD	OECD 301C-MITI (1)

生体蓄積性

材料	CAS番号	試験の種類	期間	試験の種類	試験結果	プロトコル
保湿剤	57-55-6	実験 生態濃縮		オクタノール/水分配係数	-0.92	別法
ポリオキシエチレンモノオクチルフェニルエーテル	9036-19-5	分類にデータが利用できない、あるいは不足している。	該当なし。	該当なし。	該当なし。	該当なし。
クロルヘキシジングルコネート	18472-51-0	実験 生態濃縮		オクタノール/水分配係数	-1.81	別法
α-ヒドロxy-ω-ヒドロキシポリ(オキシ-1, 2-エタンジイル)	25322-68-3	推定値 生態濃縮		生物濃縮係数	2.3	推定値：生態濃縮係数

土壤中の移動性

データはない。

オゾン層への有害性

データはない。

13. 廃棄上の注意

廃棄方法

関係法令に従って、産業廃棄物として自社で処分するか産業廃棄物処理業者に委託して処分する。

14. 輸送上の注意

国内規制がある場合の規制情報

取扱い及び保管上の注意欄に述べられている一般的注意に従ってください。 船舶及び航空輸送上の危険物には該当しない。（国際連合危険物に該当しない）

15. 適用法令

国内法規制及び関連情報

日本国内法規制（主な適用法令）

適用しない。

主な法規制物質

法規名

成分	安衛法（表示・通知）	化管法	毒劇法
該当なし。	該当なし。	該当なし。	該当なし。

16. その他の情報

改訂情報

セクション1：所在地 情報修正。
セクション1：担当部門名 情報修正。
セクション2：環境影響ステートメント 情報修正。
セクション2：GHS分類 情報修正。
セクション2：絵表示 情報修正。
セクション2：注意書き - 廃棄 情報修正。
セクション2：注意書き - 一般 情報の追加。
セクション2：注意書き - 安全対策 情報の追加。
セクション2：注意喚起語 情報の削除。
セクション2：シンボル 情報の削除。
セクション3：成分表 情報修正。
セクション3：「この製品は混合物です。」の標準フレーズ 情報修正。
セクション4：応急措置（急性・遅発性症状） 情報修正。
セクション4：応急措置 - 医療機関への報告（REACH/GHS） 情報修正。

- セクション4：応急措置(眼に入った場合)の情報 情報修正.
- セクション4：応急措置(飲み込んだ場合)の情報 情報修正.
- セクション4：応急措置(吸入した場合)の情報 情報修正.
- セクション4：応急措置(皮膚の接触した場合)の情報 情報修正.
- セクション4：毒性学的影響 情報修正.
- セクション5：火災時情報(消火法) 情報修正.
- セクション5：火災時情報(消火剤) 情報修正.
- セクション5：火災時情報(特殊有害性) 情報修正.
- セクション6：封じ込め及び浄化の方法及び機材 情報修正.
- セクション6：事故漏出時の清掃 情報修正.
- セクション6：事故漏出時の措置 情報修正.
- セクション6：事故漏出時の人体に対する注意事項 情報修正.
- セクション7：貯蔵情報 情報修正.
- セクション7：取り扱い時の安全注意喚起情報 情報修正.
- セクション8：職業暴露情報 情報修正.
- セクション8：作業環境許容値 情報修正.
- セクション8：OEL登録機関の説明 情報修正.
- セクション8：保護具 - 眼 情報修正.
- セクション8：保護具 - 吸入 情報修正.
- セクション8：保護具 - 皮膚/手 情報修正.
- セクション8：STL記号 情報修正.
- セクション8：TWA記号 情報修正.
- セクション9：沸点/初留点/沸騰範囲 情報修正.
- セクション9：分解温度 情報修正.
- セクション9：融点/凝固点 情報修正.
- セクション9：発火点情報 情報修正.
- セクション9：色 情報の追加.
- セクション9：蒸発速度情報 情報修正.
- セクション9：燃焼性(固体、ガス)情報 情報修正.
- セクション9：燃焼点(下限)情報 情報修正.
- セクション9：燃焼点(上限)情報 情報修正.
- セクション9：引火点情報 情報修正.
- セクション9：ナノパーティクル 情報の追加.
- セクション9：n-オクタノール/水分分配係数の情報 情報修正.
- セクション9：臭気限界 情報修正.
- セクション9：臭い、色、グレード情報 情報の削除.
- セクション9：揮発分 情報の追加.
- セクション9：pH情報 情報修正.
- セクション9：追加性状に関する記載 情報の追加.
- セクション9：追加性状に関する記載 情報の削除.
- セクション9：比重情報 情報修正.
- セクション9：溶解性(水以外) 情報修正.
- セクション9：水溶解性 情報修正.
- セクション9：蒸気密度/相対蒸気密度 情報の追加.
- セクション9：蒸気密度の値 情報の削除.
- セクション9：蒸気圧 情報修正.
- セクション9：粘度 情報の削除.
- セクション9：粘度 情報の追加.
- セクション9：水と規制除外の溶剤を除いた揮発性有機化合物 情報の追加.

- セクション 9 : 揮発性有機化合物 情報の追加.
- セクション 10 : 反応性情報 情報修正.
- セクション 10 : 有害分解物 情報修正.
- セクション 10 : 有害な分解物の表 情報修正.
- セクション 10 : 有害な重合反応の性状 情報修正.
- セクション 10 : 避けるべき物質 情報修正.
- セクション 11 : 急性毒性の表 情報修正.
- セクション 11 : 追加毒性情報のステートメント 情報修正.
- セクション 11 : 吸引ハザード 情報修正.
- セクション 11 : 発がん性の表 情報修正.
- セクション 11 : 分類放棄声明 情報修正.
- セクション 11 : 表テキストに非開示の成分 情報修正.
- セクション 11 : 生殖胞変異原性の表 情報修正.
- セクション 11 : 健康影響情報 (眼) 情報修正.
- セクション 11 : 健康影響情報 (飲み込んだ場合) 情報修正.
- セクション 11 : 健康影響情報 (吸入した場合) 情報修正.
- セクション 11 : 健康影響情報 (皮膚) 情報修正.
- セクション 11 : 生殖発生影響 情報修正.
- セクション 11 : 生殖毒性の表 情報修正.
- セクション 11 : 呼吸感作性 情報修正.
- セクション 11 : 重篤な眼へのダメージ/刺激の表 情報修正.
- セクション 11 : 皮膚腐食性/刺激性の表 情報修正.
- セクション 11 : 皮膚感作性の表 情報修正.
- セクション 11 : 標的臓器 - 反復ばく露の表 情報修正.
- セクション 11 : 標的臓器 - 単回ばく露の表 情報修正.
- セクション 12 : 水生生物への急性毒性情報 情報修正.
- セクション 12 : 水生生物への慢性毒性情報 情報修正.
- セクション 12 : 危険性の分類 情報修正.
- セクション 12 : 成分生態毒性情報 情報修正.
- セクション 12 : 材料の生態毒性に関するデータテキストなし 情報修正.
- セクション 12 : 残留性および分解性の情報 情報修正.
- セクション 12 : 生態濃縮性情報 情報修正.
- セクション 13 : 廃棄物の処理ノート 情報修正.
- セクション 14 : 輸送上の注意の標準フレーズ 情報修正.
- セクション 15 : 法規名 - 表 情報修正.
- セクション 15 : 適用法規のステートメント 情報修正.
- セクション 16 : UK放棄声明 情報の削除.
- セクション 16 : Webアドレス 情報修正.

免責事項：この安全データシートへの情報は、発行時において正確であると信じられるものです。当社は、法的な要求事項を除き、安全データシートの記載事項について、製品の使用に伴う損失や災害等を補償するものではありません。本安全データシートの記載内容は、記載されている範囲外の使用、あるいは他の物質と組み合わせての使用では効力を持ちません。したがって、製品が使用目的に合致しているかについては、お客様ご自身でご確認ください。

3MジャパングループのSDSは日本のウェブサイトから入手できます。



安全データシート

Copyright, 2020, 3M Company. All right reserved. 本情報は、3M社の製品を適切にご使用頂くために作成したものです。複製および/またはダウンロードをする場合には、以下の条件をお守り下さい。(1) 3M社から書面による事前承認を得ることなく情報を変更したり、一部を抜粋して使用しないで下さい。(2) 本情報を営利目的で転売または配布をしないで下さい。

SDS番号	22-9599-6	版	4.01
発行日	2020/12/21	前発行日	2016/03/18

この安全データシートはJIS Z7253:2019に対応しています。

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称

3M(TM) Clean-Trace(TM) Surface ATP 酵素液

会社情報

供給者	スリーエム ジャパン株式会社
所在地	本社 東京都品川区北品川6-7-29
担当部門	フードセーフティ製品事業部
電話番号	042-770-3572

2. 危険有害性の要約

GHS分類

有害とは分類されない。

GHSラベル要素

注意喚起語

適用しない。

シンボル

適用しない。

ピクトグラム

適用しない。

3. 組成及び成分情報

この製品は混合物です。

成分	CAS番号	重量%
水	7732-18-5	70 - 80

3M(TM) Clean-Trace(TM) Surface ATP 酵素液

非有害成分	混合物	15 - 25
アジ化ナトリウム	26628-22-8	< 0.1

4. 応急措置

応急措置

吸入した場合

応急処置は不要。

皮膚に付着した場合

石鹸と水で洗浄する。懸念がある場合は医療機関を受診する。

眼に入った場合

直ちに多量の水で洗浄する。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。症状が続く場合には医療機関を受診する。

飲み込んだ場合

口をゆすぐ。気分が悪い時は医療機関を受診する。

予想できる急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状

重大な症状や影響はない。毒物学的影響に関する情報はセクション11を参照する。

応急措置を要する者の保護に必要な注意事項

適用しない。

5. 火災時の措置

消火剤

製品は燃焼しない。火災周辺に適した消火剤を使用する。

使ってはならない消火剤

情報なし。

特有の危険有害性

本製品では予想されない。

消火作業者の保護

消火作業者への特別な防御措置は予想されない。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急措置

新鮮な空気での場所を換気する。他のセクションの使用上の注意を見る。

環境に対する注意事項

環境への放出を避けること。

封じ込め及び浄化の方法及び機材

漏洩を止める。ベントナイト、バーミキュライトあるいは市販の無機吸収剤を用い、漏洩物の周囲から内側に向けて覆う。漏洩箇所が乾燥するまで十分に吸収剤を混ぜ合わせる。漏洩した物質を出来る限り多く回収す

る。 密閉容器に収納する。 回収した物質は、国内外の法令や規則にしたがって、できるだけ早く廃棄する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

子供の手の届かないところに置くこと。 この製品を使用する時には、飲食又は喫煙をしないこと。 取扱後は手指をよく洗うこと。 環境への放出を避けること。

保管

特別な貯蔵条件はない。

8. ばく露防止及び保護措置

管理項目

許容濃度及び管理濃度

セクション3に表示されている成分名が、以下の表に見当たらない場合は、当該成分についての適切な作業時の許容濃度または管理濃度がないことを示している。

成分	CAS番号	政府機関	許容濃度または管理濃度	備考
アジ化ナトリウム	26628-22-8	ACGIH	CEIL (NaN ₃ として): 0.29 mg/m ³ ; CEIL (アジ化水素酸蒸気として): 0.11 ppm	A4: ヒト発がん性物質として分類できない

ACGIH: American Conference of Governmental Industrial Hygienists

AIHA: American Industrial Hygiene Association

ISHL: 労働安全衛生法作業環境評価基準

JSOH OELs: 日本産業衛生学会許容濃度

TWA: 時間加重平均値

STEL: 短時間ばく露限界値

CEIL: 天井値

ばく露防止策

設備対策

空気中の有害物質をそれぞれの許容濃度以下に制御し、粉じん、フェーム、ガス、ミスト、スプレーをコントロールするためにも、一般的な希釈換気あるいは局排換気を行う。換気が適切に実施できない場合は、呼吸保護具を使用する。

保護具

眼の保護具

特別な眼保護具は必要でない。

皮膚及び身体の保護具

特別な皮膚保護は必要ない。

呼吸用保護具

特別な呼吸器保護は必要でない。

9. 物理的及び化学的性質

基本的な物理・化学的性質

外観	液体
色	淡黄色
臭い	かすかな乳剤臭。、かすかなプラスチック臭。
臭いの閾値	データはない。
pH	データはない。
融点・凝固点	データはない。
沸点、初留点及び沸騰範囲	データはない。
引火点	適用しない。
蒸発速度	データはない。
引火性（固体、ガス）	適用しない。
燃焼点（下限）	データはない。
燃焼点（上限）	データはない。
蒸気圧	データはない。
蒸気密度/相対蒸気密度	データはない。
密度	データはない。
比重	>= 1 [参照基準：水=1]
溶解度	データはない。
溶解度（水以外）	データはない。
n-オクタノール/水分配係数	データはない。
発火点	データはない。
分解温度	データはない。
粘度/動粘度	データはない。
揮発性有機化合物	データはない。
揮発分	データはない。
水と規制除外の溶剤を除いた揮発性有機化合物 （JIS-GHSの要求項目ではない）	データはない。
モル重量	データはない。

ナノパーティクル

この製品はナノパーティクルを含有しない。

10. 安定性及び反応性

反応性

この物質は、通常の使用条件下では、非反応性であると考えられる。

化学的安定性

安定。

危険有害反応の可能性

有害な重合反応は起こらない。

避けるべき条件

知見はない。

混触危険物質

知見はない。

**危険有害な分解物
物質**

一酸化炭素
二酸化炭素
窒素酸化物

条件

特段の規定はない。
特段の規定はない。
特段の規定はない。

11. 有害性情報

セクション2で区分表示が義務付けられている特殊な成分を含有する場合には、下記の情報と一致しない場合があります。また、成分の含有量が表示義務となる値以下の場合、成分のばく露が予想されない場合、あるいは製品全体を考慮した場合に、含有成分の毒性情報が、製品の区分、ばく露時の兆候や症状に一致しないことがあります。

毒性学的影響に関する情報**ばく露による症状**

組成の試験結果や情報より、下記の健康影響が考えられる。

眼に入った場合

製品使用中に眼に接触しても、重篤な刺激が発現するとは考えられない。

皮膚に付着した場合

製品使用中に皮膚に接触しても、重篤な刺激が発現するとは考えられない。

吸入した場合

人体への健康影響に関する情報は無い。

飲み込んだ場合

胃腸への刺激：腹痛、胃痛、吐き気、嘔吐、下痢などの症状。

毒性データ

セクション3に開示されている化学成分で以下に情報が無い場合は、そのエンドポイントに対して利用できるデータが無い、分類するに十分なデータが無い場合があります。

急性毒性

名称	経路	生物種	値又は判定結果
製品全体	経口摂取		利用できるデータが無い：ATEで計算。5,000 mg/kg
非有害成分	皮膚	専門家による判断	LD50 推定値 > 5,000 mg/kg
非有害成分	経口摂取	ラット	LD50 15,900 mg/kg
アジ化ナトリウム	皮膚	ウサギ	LD50 20 mg/kg
アジ化ナトリウム	経口摂取	ラット	LD50 42 mg/kg

ATE=推定急性毒性

3M(TM) Clean-Trace(TM) Surface ATP 酵素液

皮膚腐食性及び皮膚刺激性

名称	生物種	値又は判定結果
アジ化ナトリウム	非該当	軽度の刺激

眼に対する重篤な損傷又は眼刺激性

名称	生物種	値又は判定結果
アジ化ナトリウム	非該当	中程度の刺激

呼吸器感作性または皮膚感作性

皮膚感作性

セクション3に開示されている化学成分に対しては、利用できるデータが無い、分類するに十分なデータが無い。

呼吸器感作性

セクション3に開示されている化学成分に対しては、利用できるデータが無い、分類するに十分なデータが無い。

生殖細胞変異原性

名称	経路	値又は判定結果
アジ化ナトリウム	In vitro	陽性データはあるが、分類には不十分。

発がん性

名称	経路	生物種	値又は判定結果
アジ化ナトリウム	経口摂取	ラット	発がん性なし

生殖毒性

生殖発生影響

名称	経路	値又は判定結果	生物種	試験結果	ばく露期間
アジ化ナトリウム	経口摂取	発生毒性は区分されない	ラット	NOAEL 10 mg/kg/day	妊娠期間中

授乳に対するまたは授乳を介した影響

名称	経路	生物種	値又は判定結果
アジ化ナトリウム	経口摂取	ラット	乳汁を介した影響および授乳による影響は分類されない。

標的臓器

特定標的臓器毒性、単回ばく露

名称	経路	標的臓器	値又は判定結果	生物種	試験結果	ばく露期間
アジ化ナトリウム	吸入した場合	脈管系	臓器への影響	ヒト	NOAEL データなし	職業性被ばく
アジ化ナトリウム	経口摂取	脈管系	臓器への影響	ヒト	NOAEL データなし	中毒ないし乱用時

特定標的臓器毒性、反復ばく露

名称	経路	標的臓器	値又は判定結果	生物種	試験結果	ばく露期間
アジ化ナトリウム	経口摂取	脈管系	長期あるいは反復ばく露により組織に悪影響を及ぼす。	ヒト	NOAEL データなし	2.5 年
アジ化ナトリウム	経口摂取	中枢神経系	長期ばく露又は反復ばく露による臓器障害のおそれ	ラット	LOAEL 5 mg/kg/day	103 週
アジ化ナトリウム	経口摂取	肝臓 呼吸器系 心臓 皮膚 内分泌系 骨、歯、爪及び/又は毛髪 造血器系 免疫システム 筋肉 腎臓および膀胱	区分されない。	ラット	NOAEL 10 mg/kg/day	103 週

吸引性呼吸器有害性

セクション3に開示されている化学成分に対しては、利用できるデータが無いか、分類するに十分なデータが無い。

製品及び成分に関する追加の毒性情報が必要な場合には、本SDSの1ページに記載した住所、電話番号にご連絡ください。

12. 環境影響情報

セクション2で区分表示が義務付けられている特殊な成分を含有する場合には、下記の情報と一致しないことがあります。セクション2の分類に関する追加情報が必要な場合は、弊社にお問い合わせください。また、成分の環境中での運命及び有害性は、成分の含有が表示義務となる値以下の場合、成分のばく露が予想されない場合、あるいは製品全体を考慮した場合に、この項の内容と一致しないことがあります。

生態毒性

水生毒性（急性）

GHS分類では水生生物への急性毒性はない。

水生毒性（慢性）

GHS分類では水生生物への慢性毒性はない。

製品での試験データは無い。

材料	CAS番号	生物種	種類	ばく露	テストエンドポイント	試験結果
非有害成分	混合物		分類にデータが利用できない、あるいは不足している。			N/A
アジ化ナトリウム	26628-22-8	液状化	実験	3 時間	NOEC	0.03 mg/l
アジ化ナトリウム	26628-22-8	緑藻類	実験	96 時間	EC50	0.35 mg/l
アジ化ナトリウム	26628-22-8	ニジマス	実験	96 時間	LC50	2.96 mg/l
アジ化ナトリウム	26628-22-8	ミジンコ	実験	48 時間	EC50	4.2 mg/l

残留性・分解性

3M(TM) Clean-Trace(TM) Surface ATP 酵素液

材料	CAS番号	試験の種類	期間	試験の種類	試験結果	プロトコル
非有害成分	混合物	実験 生分解性	14 日	生物学的酸素要求量	81 重量%	OECD 301C-MITI (1)
アジ化ナトリウム	26628-22-8	実験 生分解性	28 日	生物学的酸素要求量	1 % BOD/ThBOD	OECD 301C-MITI (1)

生体蓄積性

材料	CAS番号	試験の種類	期間	試験の種類	試験結果	プロトコル
非有害成分	混合物	実験 生態濃縮		オクタノール/水分配係数	-2.20	非標準的な手法
アジ化ナトリウム	26628-22-8	実験 生態濃縮		オクタノール/水分配係数	<0.3	非標準的な手法

土壌中の移動性

データはない。

オゾン層への有害性

データはない。

13. 廃棄上の注意

廃棄方法

関係法令に従って、産業廃棄物として自社で処分するか産業廃棄物処理業者に委託して処分する。

14. 輸送上の注意

国内規制がある場合の規制情報

取扱い及び保管上の注意欄に述べられている一般的注意に従ってください。 船舶及び航空輸送上の危険物には該当しない。（国際連合危険物に該当しない）

15. 適用法令

国内法規制及び関連情報

日本国内法規制（主な適用法令）

適用しない。

主な法規制物質

法規名

成分

該当なし。

安衛法（表示・通知）

該当なし。

化管法

該当なし。

毒劇法

該当なし。

16. その他の情報

改訂情報

セクション1：所在地 情報修正。

セクション1：担当部門名 情報修正.
セクション1：製品名 情報修正.
セクション2：GHS分類 情報修正.
セクション2：絵表示 情報修正.
セクション2：注意喚起語 情報の削除.
セクション2：シンボル 情報の削除.
セクション3：成分表 情報修正.
セクション3：「この製品は混合物です。」の標準フレーズ 情報修正.
セクション4：応急措置（急性・遅発性症状） 情報修正.
セクション4：応急措置 - 医療機関への報告（REACH/GHS） 情報修正.
セクション4：応急措置（眼に入った場合）の情報 情報修正.
セクション4：応急措置（飲み込んだ場合）の情報 情報修正.
セクション4：応急措置（吸入した場合）の情報 情報修正.
セクション4：応急措置（皮膚の接触した場合）の情報 情報修正.
セクション4：毒性学的影響情報 情報の削除.
セクション5：火災時情報（消火法） 情報修正.
セクション5：火災時情報（消火剤） 情報修正.
セクション5：火災時情報（特殊有害性） 情報修正.
セクション6：封じ込め及び浄化の方法及び機材 情報修正.
セクション6：事故漏出時の清掃 情報修正.
セクション6：事故漏出時の措置 情報修正.
セクション6：事故漏出時の人体に対する注意事項 情報修正.
セクション7：貯蔵情報 情報修正.
セクション7：取り扱い時の安全注意喚起情報 情報修正.
セクション8：職業暴露情報 情報修正.
セクション8：作業環境許容値 情報修正.
セクション8：OEL登録機関の説明 情報修正.
セクション8：保護具 - 眼 情報修正.
セクション8：保護具 - 吸入 情報修正.
セクション8：保護具 - 皮膚/手 情報修正.
セクション8：STL記号 情報修正.
セクション8：TWA記号 情報修正.
セクション9：沸点/初留点/沸騰範囲 情報修正.
セクション9：分解温度 情報修正.
セクション9：融点/凝固点 情報修正.
セクション9：色 情報の追加.
セクション9：蒸発速度情報 情報修正.
セクション9：燃焼性（固体、ガス）情報 情報修正.
セクション9：燃焼点（下限）情報 情報修正.
セクション9：燃焼点（上限）情報 情報修正.
セクション9：引火点情報 情報修正.
セクション9：ナノパーティクル 情報の追加.
セクション9：n-オクタノール/水分配係数の情報 情報修正.
セクション9：臭気限界 情報修正.
セクション9：臭い、色、グレード情報 情報の削除.
セクション9：揮発分 情報の追加.
セクション9：pH情報 情報修正.
セクション9：追加性状に関する記載 情報の追加.
セクション9：追加性状に関する記載 情報の削除.

- セクション 9 : 比重情報 情報修正.
- セクション 9 : 溶解性 (水以外) 情報修正.
- セクション 9 : 水溶解性値 情報修正.
- セクション 9 : 蒸気密度/相対蒸気密度 情報の追加.
- セクション 9 : 蒸気密度の値 情報の削除.
- セクション 9 : 蒸気圧 情報修正.
- セクション 9 : 粘度 情報の削除.
- セクション 9 : 粘度 情報の追加.
- セクション 9 : 水と規制除外の溶剤を除いた揮発性有機化合物 情報の追加.
- セクション 9 : 揮発性有機化合物 情報の追加.
- セクション 10 : 反応性情報 情報修正.
- セクション 10 : 有害分解物 情報修正.
- セクション 10 : 避けるべき条件 情報修正.
- セクション 10 : 有害な分解物の表 情報修正.
- セクション 10 : 有害な重合反応の性状 情報修正.
- セクション 10 : 避けるべき物質 情報修正.
- セクション 11 : 急性毒性の表 情報修正.
- セクション 11 : 追加毒性情報のステートメント 情報修正.
- セクション 11 : 吸引ハザード 情報修正.
- セクション 11 : 分類放棄声明 情報修正.
- セクション 11 : 表テキストに非開示の成分 情報修正.
- セクション 11 : 生殖胞変異原性の表 情報修正.
- セクション 11 : 健康影響情報 (眼) 情報修正.
- セクション 11 : 健康影響情報 (飲み込んだ場合) 情報修正.
- セクション 11 : 健康影響情報 (吸入した場合) 情報修正.
- セクション 11 : 健康影響情報 (皮膚) 情報修正.
- セクション 11 : 授乳影響の表 情報修正.
- セクション 11 : 生殖発生影響 情報修正.
- セクション 11 : 生殖毒性の表 情報修正.
- セクション 11 : 呼吸感作性 情報修正.
- セクション 11 : 重篤な眼へのダメージ/刺激の表 情報修正.
- セクション 11 : 皮膚腐食性/刺激性の表 情報修正.
- セクション 11 : 皮膚感作性 情報修正.
- セクション 11 : 標的臓器 - 反復ばく露の表 情報修正.
- セクション 11 : 標的臓器 - 単回ばく露の表 情報修正.
- セクション 12 : 水生生物への急性毒性情報 情報修正.
- セクション 12 : 水生生物への慢性毒性情報 情報修正.
- セクション 12 : 危険性の分類 情報修正.
- セクション 12 : 成分生態毒性情報 情報修正.
- セクション 12 : 材料の生態毒性に関するデータテキストなし 情報修正.
- セクション 12 : 残留性および分解性の情報 情報修正.
- セクション 12 : 生態濃縮性情報 情報修正.
- セクション 13 : 廃棄物の処理ノート 情報修正.
- セクション 14 : 輸送上の注意の標準フレーズ 情報修正.
- セクション 15 : 法規名 - 表 情報修正.
- セクション 15 : 適用法規のステートメント 情報修正.
- セクション 16 : UK放棄声明 情報の削除.
- セクション 16 : Webアドレス 情報修正.

免責事項：この安全データシート情報は、発行時において正確であると信じられるものです。当社は、法的な要求事項を除き、安全データシートの記載事項について、製品の使用に伴う損失や災害等を補償するものではありません。本安全データシートの記載内容は、記載されている範囲外の使用、あるいは他の物質と組み合わせての使用では効力を持ちません。したがって、製品が使用目的に合致しているかについては、お客様ご自身でご確認ください。

3MジャパングループのSDSは日本のウェブサイトから入手できます。